

分析事例3:観光客増加による経済波及効果

イベント開催や観光 PR 政策等により、県内への観光客(総計 4.5 万人)が増加した場合の経済波及効果を分析します。

1 分析の入力値

- 分析には「平成 27 年経済波及効果分析ツール(観光消費分析ツール)」を使用します。
- 観光客増加数、旅行者消費単価については下記の通りとします。

観光客増加数 単位: 人

	県内から	県外から	訪日外国人	合計
宿泊旅行者数	20,000	10,000	7,000	37,000
日帰り旅行者数	5,000	3,000	0	8,000
合計	25,000	13,000	7,000	45,000

旅行者消費額単価 単位: 円

	県内から	県外から	訪日外国人
宿泊旅行者数	20,000	30,000	50,000
日帰り旅行者数	10,000	15,000	0

- 消費転換係数は、総務省「家計調査(仙台市の二人以上勤労者世帯)」における令和3年～令和5年の消費支出／実収入の3か年平均 0.5514 を使用します。

2 分析の結果

(1) 経済波及効果

(億円、人)

	直接効果	第一次波及効果	第二次波及効果	総合波及効果		雇用者数
					うち 粗付加価値	
分析結果	10.68	3.31	1.79	15.78	8.64	160

※百万円未満は四捨五入しています。

(2) 部門別波及効果 ※各部門金額上位3つまで記載

	部門別分析結果
直接効果	対個人サービス(6.40 億円)、運輸・郵便(1.84 億円)、商業(7,700 万円)など
第一次波及効果	対事業所サービス(8,100 万円)、運輸・郵便(4,100 万円)、商業(3,600 万円)、など
第二次波及効果	不動産(5,300 万円)、対個人サービス(2,300 万円)、商業(2,100 万円)など
総合波及効果	対個人サービス(6.73 億円)、運輸・郵便(2.36 億円)、商業(1.35 億円)など

(3) 環境負荷

二酸化炭素排出量(エネルギー起源)は 1,809t-CO₂、温室効果ガス排出量は 2,000t-CO₂eq となっています。